

令和3年度 宮崎森林管理署 公共工事契約状況

令和3年11月5日

分任支出負担行為担当官
宮崎森林管理署長 米田 雅人

工 事 名		施 工 場 所		工事種別	工事概要	入札方式
上倉谷林道改良工事		宮崎県宮崎市田野町		林道工事	改良工事 延長 29.0m 幅員 3.6m	一般競争入札
予定価格（税抜き）	調査基準価格（税抜き）	契約年月日		契約相手方の商号又は名称及び住所		
7,624,000円	—	令和3年11月5日		宮崎県小林市堤2899番地1 八重尾産業有限公司		
契約金額（税抜き）	工事着手の時期	工事完成の時期				
7,500,000円	令和3年11月	令和4年3月				

○予算決算及び会計令（昭和22年勅令第165号。以下「予決令」という。）第73条の規定に基づく競争参加資格

別添「入札公告」のとおり

○競争に参加しようとした者の商号又は名称並びにそのうち競争に参加させなかった者の商号又は名称及びその者を参加させなかった理由

別紙「競争参加資格確認結果書」（別添1）のとおり

○入札者の商号又は名称及び各入札者の各回の入札金額

別紙「入札執行調書」（別添2）のとおり

○予定価格の作成に用いた積算価格についての内訳

別紙「工事積算内訳書」（別添3）のとおり

入札公告（森林土木工事）

次のとおり一般競争入札（政府調達対象外）に付します。

令和3年10月4日

分任支出負担行為担当官
宮崎森林管理署長 米田 雅人

1 工事概要

- (1) 工事名 上倉谷林道改良工事
- (2) 工事場所 宮崎県宮崎市田野町（水源かん養保安林）
- (3) 工事内容 延長 29.0m 幅員 3.6m
アンカー式ブロック積工 68.4m²
プラスチックL型擁壁 4.0m
簡易舗装工（アスファルト）127.5m² 外
- (4) 工期 契約締結日の翌日から令和4年3月17日まで
（工期は、「4週8休」を標準として設定）

工事の着手日から117日間（実工事期間）

（ただし、令和3年11月19日（工事着手期限）までに工事を開始すること）

本工事は、受注者の施工体制の確保及び建設資材の確保を図るため、余裕期間を見込んだ工事であり、工事着手期限までの間で、受注者は工事の着手日を任意に設定することができる。

契約締結の日から工事着手日の前日までの間は余裕期間となり、余裕期間内は技術者を配置することを要しない。

また、余裕期間内に施工体制等の確保及び建設資材の確保が図られた場合は、監督職員との協議により工事着手できるものとする。なお、余裕期間内に工事着手する場合の工期の終期については、工事着手日から実工事期間を確保した日を工期の終期とする。

- (5) 本工事は、入札等を電子入札システムにより行う対象工事である。なお、電子入札システムによりがたいものは、発注者の承諾を得て紙入札方式に代えることができる。
- (6) 本工事は、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（平成12年法律第104号）に基づき、分別解体及び特定建設資材廃棄物の再資源化等の実施が義務づけられた工事である。

(7) 本工事は、週休2日を促進するため、現場閉所による週休2日に取り組むことを前提として直接工事費及び間接工事費の一部を補正して実施する試行工事（受注者希望方式）である。

契約締結後、工事着手前に週休2日の取組について協議して実施するものとし、その取組状況に応じ林野庁工事成績評定要領（平成10年3月31日付け10林野管第31号林野庁長官通知）に基づく工事成績評定（以下「工事成績評定」という。）において評価を行うとともに、「森林土木工事における週休2日の取組実績証明書」を発行する。なお、現場閉所が4週8休以上でない場合は、現場閉所状況等に応じて請負代金額を変更するが、工事成績評定においてマイナス評価は行わない。

(8) 本工事は、令和3年3月1日以降の労務単価を適用した工事である。

詳しくは九州森林管理局ホームページ

https://www.rinya.maff.go.jp/kyusyu/tisan/announce/sekisan_kouhyou.html#290327

をご覧ください。

(9) 本工事は、令和3年4月1日に適用される前の森林整備保全事業設計積算要領（平成12年3月31日付け12林野計第138号林野庁長官通知）等に基づく予定価格により入札を執り行うものであるが、令和3年3月31日に「令和3年4月以降に適用する森林整備保全事業設計積算要領等に係る取扱いについて」（令和3年3月31日付け2林整計第874号林野庁森林整備部計画課長通知）が通知されたことを踏まえ、工事の発注者又は受注者は、国有林野事業工事請負契約約款第63条の規定に基づき、次の方式により算出された請負代金額等に変更する協議を行うことができるものとする。

変更後の請負代金額等 = $P_{\text{新}} \times k$

この式において、「 $P_{\text{新}}$ 」及び「 k 」は、それぞれ以下を表すものとする。

$P_{\text{新}}$ ：新積算要領等により積算された予定価格（単価は入札時の予定価格算出に用いたものとする）

k ：当初契約の落札率

2 競争参加資格

(1) 「予算決算及び会計令」（昭和22年勅令第165号）第70条及び第71条の規定に該当しない者であること。なお、未成年者、被保佐人又は被補助人であって、契約締結のために必要な同意を得ている者は、第70条中、特別の理由がある場合に該当する。

(2) 九州森林管理局における土木一式工事に係るC又はD等級の一般競争参加資格の認定を受けていること（「会社更生法」（平成14年法律第154号）に基づき更生手続き開始の申立てがなされている者又は「民事再生法」（平成11年法律第225号）に基づき再生手続き開始の申立てがなされている者については、手続き開始の決定後、九州森林管理局長が別に定める手続に基づく一般競争参加資格の再確認を受けていること。）。

(3) 「会社更生法」に基づき更生手続開始の申立てがなされている者又は「民事再生法」に基づき再生手続開始の申立てがなされている者（上記(2)の再確認を受けた者を除く。）でないこと。

(4) 平成18年度以降公告日の前日までに元請として、次に示す森林土木工事を施工した実績を有すること（共同企業体の構成員としての実績は、出資比率が20%以上の場合のものに限る。）。

なお、当該実績が森林管理局長、森林管理署長、森林管理署支署長、森林管理事務所長、治山センター所長及び総合治山事業所長（以下「森林管理局長等」という。）が発注した工事のうち、入札説明書に示すものに係る実績である場合にあっては、「林野庁工事成績評定要領」（平成10年3月31日付け10林野管第31号林野庁長官通知）第4の3に規定する工事成績評定表の評定点合計（以下「評定点合計」という。）が65点未満のものを除く。

経常建設共同企業体にあっては、全ての構成員が上記の基準を満たす施工実績を有すること。

・森林土木工事：①治山関係事業（溪間工事、山腹工事、地すべり工事、海岸防災林造成の工事）の工事
②林道の新設工事若しくは改良工事若しくは災害復旧工事又は保安林管理道の新設工事若しくは改良工事若しくは災害復旧工事
③林道規定に定める自動車道2級以上に相当する作業道の新設工事
のうち、いずれかの工事

(5) 「建設業法」（昭和24年法律第100号）に基づく「主任技術者又は監理技術者」（以下「主任（監理）技術者」という。）の配置については、次に掲げる基準を満たす主任（監理）技術者を配置できること。

ただし、本工事において、現場施工に着手するまでの期間及び工事完成後、検査が終了し事務手続き、後片付け等のみが残っている期間については、必ずしも主任技術者又は監理技術者の専任の配置は要しない。

① 技術士（建設部門又は森林部門（選択科目を「森林土木」とするものに限る。）、2級土木施工管理技士、2級建設機械施工技士又は林業技士（森林土木部門に限る。）以上の資格を有する者であること。

② 平成18年度以降公告日の前日までに、森林土木工事において、次の職務の経験を有する者であること。ただし、交代等により全工期（余裕期間は除く）のうち半分未満の経験を有する者は該当しない。

なお、当該実績が森林管理局長等が発注した工事のうち、入札説明書に示すものに係る実績である場合にあっては、評定点合計が65点未満のものを除く。

ア 主任（監理）技術者

イ 主任（監理）技術者の下で行った工程管理、出来形管理、品質管理及び安全管理のうち、いずれか2以上の職務の経験のある者

ウ 現場代理人

・ 森林土木工事：①治山関係事業（溪間工事、山腹工事、地すべり工事、海岸防災林造成の工事）の工事
②林道の新設工事若しくは改良工事若しくは災害復旧工事又は保安林管理道の新設工事若しくは改良工事若しくは災害復旧工事
③林道規程に定める自動車道2級以上に相当する作業道の新設工事
のうち、いずれかの工事

③ 監理技術者にあつては、監理技術者資格者証及び監理技術者講習修了証を有する者であること。

(6) 競争参加資格確認申請書（以下「申請書」という。）及び競争参加資格確認資料（以下「資料」という。）の提出期限の日から開札の時までの期間に、九州森林管理局長から「工事請負契約指名停止等措置要領の制定について」（昭59年6月11日付け59林野経第156号林野庁長官通知）に基づく指名停止を受けていないこと。

(7) 森林管理局長等が発注した森林土木工事で、過去2年間（平成31年4月1日から令和2年3月31日まで）に完成した工事で工事の実績がある場合においては、当該工事に係る評定点合計の平均が65点以上であること。

(8) 上記1に示した工事に係る設計業務等の受託者又は当該受託者と資本若しくは人事面において関連がある建設業者でないこと。

(9) 入札に参加しようとする者の間に資本関係又は人的関係がないこと（資本関係又は人的関係がある者のすべてが共同企業体の代表者以外の構成員である場合を除く。）（入札説明書を参照のこと。）。

(10) 「建設業法」に基づく本店又は支店若しくは営業所が、九州森林管理局管内の市町村に所在すること。

また、経常建設共同企業体として資料を提出する場合は、有資格者名簿に記載されている共同企業体の本店所在地が、九州森林管理局管内の市町村に所在すること。

(11) 「農林水産省発注工事等からの暴力団排除の推進について」（平成19年12月7日付け19経第1314号大臣官房経理課長通知）に基づき、警察当局から部局長に対し、暴力団員が実質的に経営を支配する建設業者又はこれに準ずるものとして、農林水産省発注工事等からの排除要請があり、当該状態が継続している者でないこと。

(12) 以下に定める届出の義務を履行していない建設業者（当該届出の義務がない者を除く。）でないこと。

- ・健康保険法（大正11年法律第70号）第48条の規定による届出の義務
- ・厚生年金保険法（昭和29年法律第115号）第27条の規定による届出の義務
- ・雇用保険法（昭和49年法律第116号）第7条の規定による届出の義務

(13) 下請契約等からの社会保険等未加入建設業者の排除等

工事を施工するために締結した全ての下請契約について、受注者は、原則として、社会保険等未加入建設業者を下請契約の相手方にすることはできない。（ただし、適用除外者は除く。）

3 競争参加資格の確認等

(1) 本競争の参加希望者は、上記2に掲げる競争参加資格を有することを証明するため、次に掲げるところに従い、申請書及び資料を提出し、分任支出負担行為担当官から競争参加資格の有無について確認を受けなければならない。

(2) 申請書及び資料の提出期間、場所及び方法

- ① 提出期間：令和3年10月5日から令和3年10月18日までの土曜日、日曜日及び祝日等の行政機関の休日を除く毎日、9時から17時までとする。ただし、令和3年10月18日は、9時から15時までとする。
- ② 場 所：〒880-0844 宮崎県宮崎市柳丸町388-5
宮崎森林管理署 総務グループ
電話 0985-29-2311
- ③ その他：電子入札システムを用いて提出すること。詳細は入札説明書によるものとし、郵送又はFAXによるものは受け付けない。ただし、承諾を得て紙入札による場合は②の場所に持参すること。

(3) 申請書及び資料は入札説明書により作成すること。

(4) 上記(2)に規定する期限までに申請書及び資料を提出しない者又は競争参加資格がないと認められた者は本競争に参加できない。

(5) 省略を認める書類

過去2年間（平成31年4月1日から令和3年3月31日まで）に完成した工事で森林管理局长等発注の森林土木工事に係る工事成績評定通知書（写）の添付については、本公告による競争参加資格申請が今年度の2回目以降の申請であり、既に前回までの申請書に添付している場合には、様式に工事名、工事成績評定点等を記載した上で「○ ○森林管理（局、（支）署）令和○○年○○月○○日入札の○○工事において提出済み」と記載すれば再度の添付を要しない。（入札説明書を参照のこと）

4 入札手続等

(1) 担当部局

〒880-0844 宮崎県宮崎市柳丸町388-5

宮崎森林管理署 総務グループ

電話 0985-29-2311

(2) 入札説明書等の配布期間、場所及び方法

入札説明書等（図面類を含む。）は、本公告の日から入札日の前日までの期間において電子入札システムを用いて入手できる。

なお、電子入札システムによりがたい場合は次に掲げるところによる。

- ① 配布期間：令和3年10月4日から令和3年10月29日までの土曜日、日曜日及び祝日等の行政機関の休日を除く毎日、9時から17時まで（12時から13時までを除く。）とする。
- ② 場 所：〒880-0844 宮崎県宮崎市柳丸町388-5
宮崎森林管理署 総務グループ
電話 0985-29-2311
- ③ 図面類は閲覧によること。
- ④ 配布資料は無料である。

(3) 入札及び開札の日時、場所及び提出方法

入札書は電子入札システムにより提出すること。ただし、やむを得ない事情により発注者の承諾を得た場合は、紙入札方式による入札書を持参すること。なお、郵送等による提出は認めない。

- ① 電子入札システムによる入札の締切りは、令和3年11月1日11時30分。
- ② 紙入札方式による入札の締切りは、令和3年11月1日11時30分とし、宮崎森林管理署入札室において入札。
- ③ 開札は、令和3年11月1日11時35分に、宮崎森林管理署入札室において行う。
- ④ 紙入札方式による入札の執行に当たっては、支出負担行為担当官等により競争参加資格があると確認された旨の通知書の写し及び委任状がある場合は委任状を持参すること。

5 その他

(1) 手続において使用する言語及び通貨

日本語及び日本国通貨に限る。

(2) 入札保証金及び契約保証金

- ① 入札保証金 免除
- ② 契約保証金 納付（保管金の取扱店 日本銀行（宮崎代理店））。ただし、金融機関又は保証事業会社（「公共工事の前払金保証事業に関する法律」（昭和27年法律第

184号)第2条第4項に規定する保証会社をいう。)の保証(取扱官庁 宮崎森林管理署)をもって契約保証金の納付に代えることができる。

また、公共工事履行保証証券による保証を付した場合又は履行保証保険契約の締結を行った場合には、契約保証金の納付を免除する。

(3) 工事費内訳書の提出

第1回の入札に際し、第1回の入札書に記載される入札金額に対応した工事費内訳書を電子入札システムにより提出すること。紙入札方式による場合は、入札書とともに工事費内訳書を提出すること。

なお、当該工事費内訳書の提出のない者のした入札、及び不備等があった者の入札は無効とする。

(4) 入札の無効

本公告に示した競争参加資格のない者のした入札、申請書及び資料に虚偽の記載を行った者のした入札及び入札に関する条件に違反した入札は無効とする。

(5) 落札者の決定方法

落札者の決定は、競争参加資格の確認がなされた者の中から「予算決算及び会計令」第79条の規定に基づいて作成された予定価格の制限の範囲内で最低の価格をもって有効な入札を行った入札者を落札者とする。ただし、予定価格が1千万円を超える工事について、落札者となるべき者の入札価格によっては、その者により当該契約の内容に適合した履行がなされないおそれがあると認められるとき、又はその者と契約を締結することが公正な取引の秩序を乱すこととなるおそれがある著しく不相当であると認められるときは、予定価格の制限の範囲内をもって入札した他の者のうち、最低の価格をもって入札したものを落札者とすることがある。

(6) 配置予定主任(監理)技術者の確認

落札者決定後、財団法人日本建設情報総合センターの「工事实績情報システム(CO RINS)」等により配置予定の主任(監理)技術者の専任制違反の事実が確認された場合には、契約を締結しないことがある。

なお、種々の状況からやむを得ないものとして承認された場合のほかは、配置予定主任(監理)技術者の変更は認めない。

(7) 契約書作成の要否

作成を要する。

(8) 関連情報を入手するための照会窓口

上記4(1)に同じ。

(9) 一般競争参加資格の認定を受けていない者の参加

上記2(2)に掲げる一般競争参加資格の認定を受けていない者も上記3(2)により申請書及び資料を提出することができる。ただし、競争に参加するには、開札の時に、当該資格の認定を受け、かつ競争参加資格の確認を受けていなければならない。

(10) 資料の内容のヒアリング

原則として行わない。ただし、ヒアリング実施の必要が生じた場合は別途通知する。

(11) 本案件は、入札及び資料の提出等を電子入札システムにより行うものであり、詳細については、入札説明書及び電子入札システム運用基準（平成16年7月 林野庁）による。

(12) 本公告に係る森林土木工事請負契約における契約約款は、こちらからダウンロードしてください。

詳しくは当森林管理局のホームページ

http://www.rinya.maff.go.jp/kyusyu/kouhyou/keiyaku_yakkan/index.html

をご覧ください。

なお、上記ダウンロードをもって契約約款の交付に代え、契約約款の交付日は本公告日とすることとしますのでご承知おきください。

(13) 農林水産省の発注事務に関する綱紀保持を目的とした、「農林水産省発注者綱紀保持規程」（平成19年農林水産省訓令第22号）第10条及び第11条にのっとり、第三者から以下の不当な働きかけを受けた場合は、これを拒否し、その内容（日時、相手方及び働きかけの内容）を記録し、同規定第9条に基づき設置する発注者綱紀保持委員会（以下、「委員会」という。）に報告し、委員会の調査分析において不当な働きかけと認められた場合には、当該委員会を設置している機関において閲覧及びホームページにより公表します。

（不当な働きかけ）

- ① 自らに有利な競争参加資格の設定に関する依頼
- ② 指名競争入札において自らを指名すること又は他社を指名しないことの依頼
- ③ 自らが受注すること又は他社に受注させないことの依頼
- ④ 公表前における設計金額、予定価格、見積金額又は低入札価格調査制度の調査基準価格に関する情報聴取
- ⑤ 公表前における総合評価落札方式における技術点に関する情報聴取
- ⑥ 公表前における発注予定に関する情報聴取
- ⑦ 公表前における入札参加者に関する情報聴取
- ⑧ その他の特定の者への便宜又は利益若しくは不利益の誘導につながるおそれのある依頼又は情報聴取

詳しくは当森林管理局のホームページ

<http://www.rinya.maff.go.jp/kyusyu/apply/publicsale/koubo/index.html>

をご覧ください。

- (14) 本工事については、受注者が追加で費用を要する新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を実施する場合に設計変更の協議の対象となる。受注者からの申し出により、受注者による施工計画書への反映と確実な履行を前提として設計変更を行い、必要に応じて請負代金額の変更や工期の延長を行う。

明 細 表

3	舗装工(改良1)	上倉谷					
コートNo	(構造)	(森林管理署名)	(事務所名)	メインブロック		サブブロック	
		宮崎森林管理署	本署	宮崎	64	宮崎3	529
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
78	[施工々種]		1.00	工種	0	0	
7022	簡易舗装工(アスファルト)	表層厚4cm	36.90	m2	2,307	85,128	
頁 計						85,128	
計						[85128]	85,000
割出単価						85,000	
(備考)	金額計の内	労務費(運転手・助手外)	労務補正率(0%)	週休2日補正係数(1.05)		7,048	
	金額計の内	労務費(運転手・助手)	労務補正率(0%)	週休2日補正係数(1.05)		6,310	
	金額計の内	形成材料				67,490	
	金額計の内	機械賃料		週休2日補正係数(1.04)		1,439	

明 細 表

4	溝渠工(改良1)	上倉谷					
コートNo	(構造)	(森林管理署名)	(事務所名)	メインブロック		サブブロック	
		宮崎森林管理署	本署	宮崎	64	宮崎3	529
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
78	[施工々種]		1.00	工種	0	0	
7031	鉄筋コンクリート横断工 300型	簡易舗装(アスファルト)と組合せ(布設・撤去)	6.00	m	5,887	35,322	
頁 計						35,322	
計						[35322]	35,000
割出単価						35,000	
(備考)	金額計の内	労務費(運転手・助手外)	労務補正率(0%)	週休2日補正係数(1.05)		24,396	
	金額計の内	労務費(運転手・助手)	労務補正率(0%)	週休2日補正係数(1.05)		624	
	金額計の内	形成材料				2,304	
	金額計の内	機械賃料	週休2日補正係数(1.04)			6,990	

明 細 表

6	擁壁工(改良2)	上倉谷					
コードNo	(構造)	(森林管理署名)	(事務所名)	メインブロック		サブブロック	
		宮崎森林管理署	本署	宮崎	64	宮崎3	529
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
78	[施 工 々 種]		13.00	工種	0	0	
7006	アンカー式ブロック積工	多段積工 裏込材砕石タイプ 900型	68.40	m2	29,547	2,021,014	
7005	吸出し防止材設置		101.40	m2	764	77,469	
7009	笠コンクリート	アンカー式ブロック積工用	22.00	m	20,258	445,676	
7011	天端コンクリート	アンカー式ブロック積工用	22.00	m	4,299	94,578	
7026	基礎コンクリート	アンカー式ブロック積工用	22.00	m	5,195	114,290	
7012	小口止コンクリート1		0.60	m3	85,132	51,079	
7013	小口止コンクリート2		0.70	m3	89,144	62,400	
7015	基面整正	人力	15.40	m2	344	5,297	
7014	基礎砕石工	20cm以下 0.80BH 厚10cm	15.40	m2	1,054	16,231	
6212	伸縮目地取付	厚10mm	0.40	m2	2,677	1,070	
6005	床堀(砂・砂質土、粘性土、礫質土)	0.8BH 障害無	122.00	m3	285	34,770	
6252	埋戻工D 100m	1m未満 改良災害用	4.00	m3	3,329	13,316	
7016	埋戻工	最大埋戻幅1m以上4m未満	29.00	m3	1,591	46,139	
頁 計						2,983,329	
計						[2983329]	2,983,000
割出単価						229,461	
(備考)	金額計の内	労務費(運転手・助手外) 労務補正率(0%) 週休2日補正係数(1.05)				735,155	
	金額計の内	労務費(運転手・助手) 労務補正率(0%) 週休2日補正係数(1.05)				42,822	
	金額計の内	形成材料				2,097,007	
	金額計の内	機械賃料 週休2日補正係数(1.04)				63,881	

明 細 表

8	舗装工(改良2)	上倉谷					
コートNo	(構造)	(森林管理署名)	(事務所名)	メインブロック		サブブロック	
		宮崎森林管理署	本署	宮崎	64	宮崎3	529
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
78	[施工々種]		1.00	工種	0	0	
7022	簡易舗装工(アスファルト)	表層厚4cm	90.60	m2	2,307	209,014	
頁 計						209,014	
計						[209014]	209,000
割出単価						209,000	
(備考)	金額計の内	労務費(運転手・助手外)	労務補正率(0%)	週休2日補正係数(1.05)		17,305	
	金額計の内	労務費(運転手・助手)	労務補正率(0%)	週休2日補正係数(1.05)		15,493	
	金額計の内	形成材料				165,707	
	金額計の内	機械賃料	週休2日補正係数(1.04)			3,533	

明 細 表

10	間接工事費 共通仮設費	支給品費・無償貸付機械評価額	給分費等・飛行機費	調用・門前工機費用・別途製作費等			
(構造)	T 直接工事費(+)	3,983,000	o 適用諸経費率	8 道路工事			
	A 積上仮設費等(+)	10,000	a 原定率共通仮設費率(%)	12.78			
	S 対象額算定組込経費(+)		b 施工地域補正係数	1.0			
	H 対象額算定除外経費(-)		c 週休2日補正係数	1.04			
	P 定率仮設費算定対象額	3,993,000	d 採用仮設費率 a*b*c	13.29			
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3703	産廃処分費	アスファルト殻	4.70	m3	2,300	10,810	
	小計 (A積み上げ仮設費)					10,000	
	定率現場環境改善費	(T + S) * 1.88 %	1.00	式		74,000	
	小計					74,000	
	定率共通仮設費	P * 13.29 %	1.00	式		530,000	
	計					614,000	
(備考)	(参考)金額計の内労務費の金額			0 %割増		0	

明 細 表

11	間接工事費 現場管理費																																																																																																																																										
	(構造)	(森林管理署名)	(事務所名)	メインブロック	(サブブロック)	(ブロック略称)																																																																																																																																					
		宮崎森林管理署	本署	64	529	宮崎																																																																																																																																					
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額																																																																																																																																					
	現 場 管 理 費		1.0	式	-	1,641,000																																																																																																																																					
	計					1,641,000																																																																																																																																					
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">A 直接工事費</td> <td></td> <td style="text-align: right;">3,983,000 円</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td>B 純工事費</td> <td>(支給品費等含まない)</td> <td style="text-align: right;">4,597,000 円</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td>C 産業廃棄物処分費等</td> <td></td> <td style="text-align: right;">円</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td>D 現場管理費算定対象額</td> <td>(B - C)</td> <td style="text-align: right;">4,597,000 円</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td>E 現場管理費率</td> <td>(Dで算定)</td> <td style="text-align: right;">33.69 %</td> <td colspan="4">8 道路工事</td> </tr> <tr> <td>F 施工時期補正 設定工期</td> <td>(標準工期)</td> <td style="text-align: right;">日 (</td> <td colspan="4">109 日)</td> </tr> <tr> <td>G 冬期期間内工期</td> <td></td> <td style="text-align: right;">日</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td>H 級地区分補正係数</td> <td></td> <td style="text-align: right;">0.00</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td>I 冬期率(I年度内工期率)</td> <td>(G/F * 100)</td> <td style="text-align: right;">0 %</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td>J 冬期補正率</td> <td>(H * I / 100)</td> <td style="text-align: right;">0.00 %</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td>K 真夏日</td> <td></td> <td style="text-align: right;">0 日</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td>L 真夏日率</td> <td>(K / F * 100)</td> <td style="text-align: right;">0 %</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td>M 熱中症対策補正率</td> <td>(L * 1.2 / 100)</td> <td style="text-align: right;">0.00 %</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td>N 施工地域補正係数</td> <td></td> <td style="text-align: right;">1.00</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td>O 週休2日補正係数</td> <td></td> <td style="text-align: right;">1.06</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td>P 補正現場管理費率</td> <td>(E * N + (J + M)) * O</td> <td style="text-align: right;">35.71 %</td> <td colspan="4">(J + Mの最大は2.0%)</td> </tr> <tr> <td>Q 算定現場管理費</td> <td>(D * P / 100)</td> <td style="text-align: right;">1,641,588 円</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td>R 端数切捨額</td> <td>(千円止)</td> <td style="text-align: right;">-588 円</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td>S 現場管理費</td> <td>(Q + R)</td> <td style="text-align: right;">1,641,000 円</td> <td colspan="4"></td> </tr> </table>							A 直接工事費		3,983,000 円					B 純工事費	(支給品費等含まない)	4,597,000 円					C 産業廃棄物処分費等		円					D 現場管理費算定対象額	(B - C)	4,597,000 円					E 現場管理費率	(Dで算定)	33.69 %	8 道路工事				F 施工時期補正 設定工期	(標準工期)	日 (109 日)				G 冬期期間内工期		日					H 級地区分補正係数		0.00					I 冬期率(I年度内工期率)	(G/F * 100)	0 %					J 冬期補正率	(H * I / 100)	0.00 %					K 真夏日		0 日					L 真夏日率	(K / F * 100)	0 %					M 熱中症対策補正率	(L * 1.2 / 100)	0.00 %					N 施工地域補正係数		1.00					O 週休2日補正係数		1.06					P 補正現場管理費率	(E * N + (J + M)) * O	35.71 %	(J + Mの最大は2.0%)				Q 算定現場管理費	(D * P / 100)	1,641,588 円					R 端数切捨額	(千円止)	-588 円					S 現場管理費	(Q + R)	1,641,000 円				
A 直接工事費		3,983,000 円																																																																																																																																									
B 純工事費	(支給品費等含まない)	4,597,000 円																																																																																																																																									
C 産業廃棄物処分費等		円																																																																																																																																									
D 現場管理費算定対象額	(B - C)	4,597,000 円																																																																																																																																									
E 現場管理費率	(Dで算定)	33.69 %	8 道路工事																																																																																																																																								
F 施工時期補正 設定工期	(標準工期)	日 (109 日)																																																																																																																																								
G 冬期期間内工期		日																																																																																																																																									
H 級地区分補正係数		0.00																																																																																																																																									
I 冬期率(I年度内工期率)	(G/F * 100)	0 %																																																																																																																																									
J 冬期補正率	(H * I / 100)	0.00 %																																																																																																																																									
K 真夏日		0 日																																																																																																																																									
L 真夏日率	(K / F * 100)	0 %																																																																																																																																									
M 熱中症対策補正率	(L * 1.2 / 100)	0.00 %																																																																																																																																									
N 施工地域補正係数		1.00																																																																																																																																									
O 週休2日補正係数		1.06																																																																																																																																									
P 補正現場管理費率	(E * N + (J + M)) * O	35.71 %	(J + Mの最大は2.0%)																																																																																																																																								
Q 算定現場管理費	(D * P / 100)	1,641,588 円																																																																																																																																									
R 端数切捨額	(千円止)	-588 円																																																																																																																																									
S 現場管理費	(Q + R)	1,641,000 円																																																																																																																																									
備考																																																																																																																																											

割 増 単 価 表

7002 アンカー部材取付		宮崎森林管理署 本署					
コードNo	(構造)	メインブロック		サブブロック		作成単位	
		宮崎	64	宮崎3	529	20 セット	
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2	普通作業員	令和3年3月労賃	0.11	人	17,220	1,894	
計		週休:4週8休以上				1,894	
		単 価			1.0 セット当り	95	
		単価の内労務費の金額				95	
		単価の内形成材料の金額				0	
[摘要]							

割 増 単 価 表

7004 土砂安定シート設置		宮崎森林管理署 本署					
コードNo	(構造)	メインブロック		サブブロック		作成単位	
		宮崎	64	宮崎3	529	10 枚	
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2	普通作業員	令和3年3月労賃	0.02	人	17,220	344	
2958	土砂安定シート		10.00	枚	380	3,800	
計		週休:4週8休以上				4,144	
		単 価			1.0 枚当り	414	
		単価の内労務費の金額				34	
		単価の内形成材料の金額				380	
[摘要]							

割 増 単 価 表

7005 吸出し防止材設置			宮崎森林管理署 本署				
コードNo	(構造)	メインブロック		サブブロック		作成単位	
		宮崎	64	宮崎3	529		
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2	普通作業員	令和3年3月労賃	0.06	人	17,220	1,033	
2816	背面不織布 S-10G	t=10	11.20	m2	590	6,608	
計		週休:4週8休以上				7,641	
		単 価		1.0 m2当り		764	
		単価の内労務費の金額				103	
		単価の内形成材料の金額				661	
[摘要]							

割 増 単 価 表

7007 型枠工		宮崎森林管理署 本署					
コードNo	(構造) 小型	メインブロック		サブブロック		作成単位	
		宮崎	64	宮崎3	529	1 m3	
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
8001	型枠	施工パッケージ単価計算参照	1.00	m2	7,023	7,023	
計		週休:4週8休以上				7,023	
		単 価			1.0 m3当り	7,023	
		単価の内労務費の金額				7,023	
		単価の内形成材料の金額				0	
[摘要]							

割 増 単 価 表

7008		コンクリート打設・養生			宮崎森林管理署 本署			
コードNo	(構造) 小型 人力打設		メインブロック		サブブロック		作成単位	
			宮崎	64	宮崎3	529	1 m3	
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考	
8002	コンクリート	施工パッケージ単価計算参照	1.00	m3	32,110	32,110		
計		週休:4週8休以上				32,110		
		単 価			1.0 m3当り	32,110		
		単価の内労務費の金額				10,897		
		単価の内形成材料の金額				21,208		
[摘要]								

割 増 単 価 表

7009 笠コンクリート		宮崎森林管理署 本署					
コードNo	(構造) アンカー式ブロック積工用	メインブロック		サブブロック		作成単位	
		宮崎	64	宮崎3	529	10 m	
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
7007	型枠工	小型	13.30	m3	7,023	93,406	
7008	コンクリート打設・養生	小型 人力打設	3.40	m3	32,110	109,174	
計		週休:4週8休以上				202,580	
		単 価		1.0 m当り		20,258	
		単価の内労務費の金額				13,046	
		単価の内形成材料の金額				7,211	
[摘要]							

割 増 単 価 表

7010		コンクリート打設・養生 小型車割増			宮崎森林管理署 本署			
コードNo	(構造) 小型 バックホウ(クレーン機能付き)打設		メインブロック		サブブロック		作成単位	
			宮崎	64	宮崎3	529	1 m3	
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考	
8003	コンクリート	施工パッケージ単価計算参照	1.00	m3	35,970	35,970		
計		週休:4週8休以上				35,970		
		単 価			1.0 m3当り	35,970		
		単価の内労務費の金額				10,474		
		単価の内形成材料の金額				23,927		
[摘要]								

割 増 単 価 表

7011 天端コンクリート		宮崎森林管理署 本署					
コードNo	(構造) アンカー式ブロック積工用	メインブロック		サブブロック		作成単位	
		宮崎	64	宮崎3	529	10 m	
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
7007	型枠工	小型	1.00	m3	7,023	7,023	
7010	コンクリート打設・養生 小型車割増	小型 バックホウ(クレーン機能付き)打設	1.00	m3	35,970	35,970	
計		週休:4週8休以上				42,993	
		単 価			1.0 m当り	4,299	
		単価の内労務費の金額				1,750	
		単価の内形成材料の金額				2,393	
[摘要]							

割 増 単 価 表

7012 小口止コンクリート1		宮崎森林管理署 本署					
コードNo	(構造)	メインブロック		サブブロック		作成単位	
		宮崎	64	宮崎3	529	0.6 m3	
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
7010	コンクリート打設・養生 小型車割増	小型 バックホウ(クレーン機能付き)打設	0.60	m3	35,970	21,582	
7007	型枠工	小型	4.20	m3	7,023	29,497	
計		週休:4週8休以上				51,079	
		単 価		1.0 m3当り		85,132	
		単価の内労務費の金額				59,635	
		単価の内形成材料の金額				23,927	
[摘要]							

割 増 単 価 表

7013 小口止コンクリート2		宮崎森林管理署 本署					
コードNo	(構造)	メインブロック		サブブロック		作成単位	
		宮崎	64	宮崎3	529	0.7 m3	
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
7010	コンクリート打設・養生 小型車割増	小型 バックホウ(クレーン機能付き)打設	0.70	m3	35,970	25,179	
7007	型枠工	小型	5.30	m3	7,023	37,222	
計		週休: 4週8休以上				62,401	
		単 価			1.0 m3当り	89,144	
		単価の内労務費の金額				63,649	
		単価の内形成材料の金額				23,927	
[摘要]							

割 増 単 価 表

7015 基面整正		宮崎森林管理署 本署					
コードNo	(構造) 人力	メインブロック		サブブロック		作成単位	
		宮崎	64	宮崎3	529	1 m2	
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
8004	基面整正	施工パッケージ単価計算参照	1.00	m2	344	344	
計		週休:4週8休以上				344	
		単 価			1.0 m2当り	344	
		単価の内労務費の金額				344	
		単価の内形成材料の金額				0	
[摘要]							

割 増 単 価 表

7016 埋戻工		宮崎森林管理署 本署					
コードNo	(構造) 最大埋戻幅1m以上4m未満	メインブロック		サブブロック		作成単位	
		宮崎	64	宮崎3	529	1 m3	
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
8005	埋戻し	施工パッケージ単価計算参照	1.00	m3	1,591	1,591	
計		週休:4週8休以上				1,591	
		単 価		1.0 m3当り		1,591	
		単価の内労務費の金額				1,271	
		単価の内形成材料の金額				87	
[摘要]							

割 増 単 価 表

7018 残土処理 100m		宮崎森林管理署 本署					
コードNo 局林2-1	(構造) 改良災害用	メインブロック		サブブロック		作成単位	
単価No	名 称	規 格	宮崎	64	宮崎3	529	1 m3
			数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
6041	積込 砂・砂質土・粘性土・礫質土	0.8BH 地山 10,000m3未満	1.00	m3	48	48	
4106	不整地運搬車運転経費	クローラ型油圧式 6.0t積	1/37.62	時間	9.664	257	
4493	敷均し(築堤・路体)	11t級BD(普通)	1.00	m3	201	201	
計		週休 4週8休以上				506	
		単 価			1.0 m3当り	506	
		単価の内労務費の金額				207	
		単価の内形成材料の金額				0	
[摘要]							

割 増 単 価 表

7019 不陸整正		宮崎森林管理署 本署					
コードNo	(構造)	メインブロック		サブブロック		作成単位	
		宮崎	64	宮崎3	529	1 m2	
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
8006	不陸整正	施工パッケージ単価計算参照	1.00	m2	109	109	
計		週休:4週8休以上				109	
		単 価		1.0 m2当り		109	
		単価の内労務費の金額				71	
		単価の内形成材料の金額				8	
[摘要]							

割 増 単 価 表

7020 上層路盤工		宮崎森林管理署 本署					
コードNo	(構造) 車道、路肩部	メインブロック		サブブロック		作成単位	
		宮崎	64	宮崎3	529	1 m2	
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
8007	上層路盤(車道・路肩部)	施工パッケージ単価計算参照	1.00	m2	675	675	
計		週休:4週8休以上				675	
		単 価			1.0 m2当り	675	
		単価の内労務費の金額				155	
		単価の内形成材料の金額				462	
[摘要]							

割 増 単 価 表

7021 表層工		宮崎森林管理署 本署					
コードNo	(構造) 車道、路肩部	メインブロック		サブブロック		作成単位	
		宮崎	64	宮崎3	529	1 m2	
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
8008	表層(車道・路肩部)	施工パッケージ単価計算参照	1.00	m2	1,523	1,523	
計		週休:4週8休以上				1,523	
		単 価		1.0 m2当り		1,523	
		単価の内労務費の金額				136	
		単価の内形成材料の金額				1,359	
[摘要]							

割 増 単 価 表

7022 簡易舗装工(アスファルト)		宮崎森林管理署 本署					
コードNo	(構造) 表層厚4cm	メインブロック		サブブロック		作成単位	
		宮崎	64	宮崎3	529	100 m2	
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
7019	不陸整正		100.00	m2	109	10,900	
7020	上層路盤工	車道、路肩部	100.00	m2	675	67,500	
7021	表層工	車道、路肩部	100.00	m2	1,523	152,300	
計		週休:4週8休以上				230,700	
		単 価			1.0 m2当り	2,307	
		単価の内労務費の金額				362	
		単価の内形成材料の金額				1,829	
[摘要]							

割 増 単 価 表

7023 舗装版破碎工		宮崎森林管理署 本署					
コードNo	(構造) アスファルト	メインブロック		サブブロック		作成単位	
		宮崎	64	宮崎3	529	1 m2	
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
8009	舗装版破碎	施工パッケージ単価計算参照	1.00	m2	162	162	
計		週休:4週8休以上				162	
		単 価			1.0 m2当り	162	
		単価の内労務費の金額				129	
		単価の内形成材料の金額				14	
[摘要]							

割 増 単 価 表

7024 舗装版切断工		宮崎森林管理署 本署					
コードNo	(構造) アスファルト	メインブロック		サブブロック		作成単位	
		宮崎	64	宮崎3	529	1 m	
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
8010	舗装版切断	施工パッケージ単価計算参照	8.40	m	540	4,536	
計		週休:4週8休以上				4,536	
		単 価			1.0 m当り	4,536	
		単価の内労務費の金額				2,394	
		単価の内形成材料の金額				1,848	
[摘要]							

割 増 単 価 表

7025 廃棄物運搬13300m		宮崎森林管理署 本署					
コードNo	(構造) ダンプトラック10t	メインブロック		サブブロック		作成単位	
		宮崎	64	宮崎3	529	1 m3	
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4091	ダンプトラック(普通)運転経費	10t積(0%)タイヤ良好	1/2.73	時間	9,165	3,357	
計		週休:4週8休以上				3,357	
		単 価			1.0 m3当り	3,357	
		単価の内労務費の金額				1,262	
		単価の内形成材料の金額				0	
[摘要]							

割 増 単 価 表

7026 基礎コンクリート		宮崎森林管理署 本署					
コードNo	(構造) アンカー式ブロック積工用	メインブロック		サブブロック		作成単位	
		宮崎	64	宮崎3	529	10 m	
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
7007	型枠工	小型	3.30	m3	7,023	23,176	
7010	コンクリート打設・養生 小型車割増	小型 バックホウ(クレーン機能付き)打設	0.80	m3	35,970	28,776	
計		週休:4週8休以上				51,952	
		単 価			1.0 m当り	5,195	
		単価の内労務費の金額				3,156	
		単価の内形成材料の金額				1,914	
[摘要]							

割 増 単 価 表

7027 ガードレール設置		宮崎森林管理署 本署					
コードNo	(構造)	メインブロック		サブブロック		作成単位	
		宮崎	64	宮崎3	529	1 m	
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3286	ガードレール設置工(コンクリート)【市単】	Gr-C-2B	1.01	m	8,850	8,939	4週8休割増1.01
計		週休:4週8休以上				8,939	
単 価				1.0 m当り		8,939	
単価の内労務費の金額						0	
単価の内形成材料の金額						0	
[摘要]							

割 増 単 価 表

7028 ガードレール撤去		宮崎森林管理署 本署					
コードNo	(構造)	メインブロック		サブブロック		作成単位	
		宮崎	64	宮崎3	529	1 m	
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3702	ガードレール取り壊し(土中用)	Gr-C-4E	1.05	m	1,070	1,124	4週8休補正1.05
計		週休:4週8休以上				1,124	
		単 価	1.0 m当り			1,124	
		単価の内労務費の金額				0	
		単価の内形成材料の金額				0	
[摘要]							

割 増 単 価 表

7029 プレキャスト擁壁		宮崎森林管理署 本署					
コードNo	(構造) L型擁壁2000型	メインブロック		サブブロック		作成単位 1 m	
		宮崎	64	宮崎3	529		
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
8011	プレキャスト擁壁設置	施工パッケージ単価計算参照	1.00	m	55,710	55,710	
計		週休:4週8休以上				55,710	
		単 価			1.0 m当り	55,710	
		単価の内労務費の金額				9,081	
		単価の内形成材料の金額				45,438	
[摘要]							

割 増 単 価 表

7030 ふとんかご工		宮崎森林管理署 本署					
コードNo	(構造) 階段式	メインブロック		サブブロック		作成単位	
		宮崎	64	宮崎3	529	1 m	
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
8012	ふとんかご	施工パッケージ単価計算参照	1.00	m	12,090	12,090	
計		週休:4週8休以上				12,090	
		単 価		1.0 m当り		12,090	
		単価の内労務費の金額				4,025	
		単価の内形成材料の金額				7,194	
[摘要]							

割 増 単 価 表

7031 鉄筋コンクリート横断工 300型		宮崎森林管理署 本署					
コードNo	(構造) 簡易舗装(アスファルト)と組合せ(布設・撤去)	メインブロック		サブブロック		作成単位	
		宮崎	64	宮崎3	529	10 m	
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
* 24	土木一般世話役	令和3年3月労賃	0.10	人	25,095	2,510	撤去
* 1	特殊作業員	令和3年3月労賃	0.10	人	23,100	2,310	撤去
* 2	普通作業員	令和3年3月労賃	0.40	人	17,220	6,888	撤去
* 3011	トラッククレーン賃料	4.9t吊 (ラフスジ型・油圧伸縮ジブ型)	0.10	日	37,440	3,744	撤去
* 24	土木一般世話役	令和3年3月労賃	0.20	人	25,095	5,019	布設
* 1	特殊作業員	令和3年3月労賃	0.20	人	23,100	4,620	布設
* 2	普通作業員	令和3年3月労賃	0.80	人	17,220	13,776	布設
* 3011	トラッククレーン賃料	4.9t吊 (ラフスジ型・油圧伸縮ジブ型)	0.20	日	37,440	7,488	布設
1000	諸 雑 費	対象金額に対する割合	2.00	%	46,355	927	
6125	基礎砕石工	20cm以下 0.80BH	7.00	m2	766	5,362	
4452	埋戻工D	クハ	0.60	m3	2,459	1,475	
6001	床堀(砂・砂質土、粘性土、礫質土)	0.45BH 障害無	2.40	m3	379	910	
3701	クラッシャーラン(再生)	40-0mm	1.60	m3	2,400	3,840	割増率20%
計		週休:4週8休以上				58,869	
		単 価	1.0 m当り			5,887	
		単価の内労務費の金額				4,170	
		単価の内形成材料の金額				384	
[摘要]							

施工パッケージ単価計算

施工パッケージ名称		積算単位	標準単価	積算単価	登録番号	コードNo.	
型枠		m2	7,775.20	7,023.00	8001	施工パ-139-2	
条件区分							
型枠の種類		一般型枠					
構造物の種類		小型構造物					
機労材		代表規格			構成比	基準単価	宮崎
K(機械)					*印:賃料	0.00	
K1		-			-		
K2		-			-		
K3		-			-		
R(労務)					100.00		
R1		型わく工			45.16	26,000	23,400
R2		普通作業員			30.69	21,500	16,400
R3		土木一般世話役			11.11	24,700	23,900
R4		-			-		
Z(材料)					0.00		
Z1		-			-		
Z2		-			-		
Z3		-			-		
Z4		-			-		
S(市場単価)		-			-		

計算式

$$\begin{aligned}
 \text{積算単価} &= 7,775.20 \times \left\{ \left(\frac{0}{100} \times 0 + \frac{0}{100} \times 0 + \frac{0}{100} \times 0 \right) \times 0.00 \right. \\
 &+ \left(\frac{45.16}{100} \times 26,000 + \frac{30.69}{100} \times 21,500 + \frac{11.11}{100} \times 24,700 + \frac{0}{100} \times 0 \right) \times 100.00 \\
 &+ \left(\frac{0}{100} \times 0 + \frac{0}{100} \times 0 + \frac{0}{100} \times 0 \right) \times 0.00 \\
 &\left. + \frac{0}{100} \times 0 + \frac{0}{100} \times 0.00 + \frac{0}{100} \times 100.00 + \frac{0}{100} \times 0.00 \right\} \\
 \text{積算単価} &= 7,023.00
 \end{aligned}$$

週休:4週8休以上

施工パッケージ単価計算

施工パッケージ名称	積算単位	標準単価	積算単価	登録番号	コードNo.	
コンクリート	m3	28,111.00	32,110.00	8002	施工パ-137-58	
条件区分						
構造物種別	小型構造物					
打設工法	人力打設					
コンクリート規格	24-12-25(20)(高炉)					
設計日打設量	-					
養生工の種類	一般養生					
圧送管延長距離区分	-					
現場内小運搬の有無	無し					
打設高さ、水平打設距離	-					
機労材	代表規格			構成比	基準単価	宮崎
K(機械)				*印:賃料	0.00	
K1	-			-		
K2	-			-		
K3	-			-		
R(労務)				44.55		
R1	普通作業員			25.54	21,500	16,400
R2	特殊作業員			8.75	24,600	22,000
R3	土木一般世話役			7.99	24,700	23,900
R4	-			-		
Z(材料)				55.45		
Z1	生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55% : 高炉18-8-40 宮崎③			55.45	14,700	20,000
Z2	-			-		
Z3	-			-		
Z4	-			-		
S(市場単価)	-			-		

計算式

$$\begin{aligned}
 \text{積算単価} &= 28,111.00 \times \left\{ \left(\frac{0}{100} \times 0 + \frac{0}{100} \times 0 + \frac{0}{100} \times 0 \right) \times 0.00 \right. \\
 &+ \left(\frac{25.54}{100} \times 17,220 + \frac{8.75}{100} \times 23,100 + \frac{7.99}{100} \times 25,095 + \frac{0}{100} \times 0 \right) \times 44.55 \\
 &+ \left(\frac{55.45}{100} \times 20,000 + \frac{0}{100} \times 0 + \frac{0}{100} \times 0 \right) \times 55.45 \\
 &+ \frac{0}{100} \times 0 + \frac{0}{100} \times 0 - \frac{0.00}{100} - \frac{44.55}{100} - \frac{55.45}{100} \times 0.00 \left. \right\} \\
 \text{積算単価} &= 32,110.00
 \end{aligned}$$

週休:4週8休以上

施工パッケージ単価計算

施工パッケージ名称	積算単位	標準単価	積算単価	登録番号	コードNo.	
コンクリート	m3	28,968.00	35,970.00	8003	施工パ-137-52	
条件区分						
構造物種別	小型構造物					
打設工法	バックホウ(クレーン機能付)打設					
コンクリート規格	24-12-25(20)(高炉)					
設計日打設量	-					
養生工の種類	一般養生					
圧送管延長距離区分	-					
現場内小運搬の有無	-					
打設高さ、水平打設距離	-					
機労材	代表規格			構成比	基準単価	宮崎
K(機械)				*印:賃料	4.43	
	K1	バックホウ(クローラ型)[標準型・超低騒音型・クレーン機能付・排ガス対策型(第3次基準値)] 山積0.8m3(平積0.6m3)吊能力2.9t	*	4.18	9,847	11,537
	K2	-		-		
	K3	-		-		
R(労務)				39.79		
	R1	普通作業員		12.91	21,500	16,400
	R2	特殊作業員		11.03	24,600	22,000
	R3	運転手(特殊)		6.76	24,200	22,200
	R4	土木一般世話役		6.39	24,700	23,900
Z(材料)				55.78		
	Z1	生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55% : 高炉18-8-40 宮崎③ 小型車割増		53.83	14,700	22,000
	Z2	軽油 1.2号 パトロール給油		1.84	116	118
	Z3	-		-		
	Z4	-		-		
S(市場単価)				-		

計算式

$$\begin{aligned}
 \text{積算単価} &= 28,968.00 \times \left[\left(\frac{4.18}{100} \times \frac{11,998}{9,847} + \frac{0}{100} + \frac{0}{100} \right) \times 4.43 \right. \\
 &+ \left(\frac{12.91}{100} \times \frac{17,220}{21,500} + \frac{11.03}{100} \times \frac{23,100}{24,600} + \frac{6.76}{100} \times \frac{23,310}{24,200} + \frac{6.39}{100} \times \frac{25,095}{24,700} \right) \times 39.79 \\
 &+ \left(\frac{53.83}{100} \times \frac{22,000}{14,700} + \frac{1.84}{100} \times \frac{118}{116} + \frac{0}{100} \right) \times 55.78 \\
 &\left. + \frac{0}{100} \times 0 + \frac{0}{100} \right] \\
 \text{積算単価} &= 35,970.00
 \end{aligned}$$

週休:4週8休以上

施工パッケージ単価計算

施工パッケージ名称		積算単位	標準単価	積算単価	登録番号	コードNo.	
埋戻し		m3	1,795.10	1,591.00	8005	施工パ-019-3	
条件区分							
施工方法	最大埋戻幅1m以上4m未満						
土質	-						
締固めの有無	-						
機労材	代表規格				構成比	基準単価	宮崎
K(機械)	*印:賃料				12.45		
K1	バックホウ(クローラ型)[標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積0.8m3(平積0.6m3)				10.67	18,400	18,400
K2	振動ローラ(舗装用)[ハンドガイド式] 質量0.8~1.1t				*	1,560	1,885
K3	タンパ及びランマ 質量60~80kg				*	471	607
R(労務)					82.78		
R1	普通作業員				51.55	21,500	16,400
R2	特殊作業員				22.61	24,600	22,000
R3	運転手(特殊)				8.62	24,200	22,200
R4	-				-		
Z(材料)					4.77		
Z1	軽油 1.2号 パトロール給油				4.67	116	118
Z2	ガソリン レギュラー スタンド				0.10	131	132
Z3	-				-		
Z4	-				-		
S(市場単価)	-				-		

計算式

$$\begin{aligned}
 \text{積算単価} &= 1,795.10 \times \left[\left(\frac{10.67}{100} \times \frac{18,400}{18,400} + \frac{1.68}{100} \times \frac{1,960}{1,560} + \frac{0.10}{100} \times \frac{631}{471} \right) \times \frac{12.45}{10.67} + \frac{1.68}{100} \times \frac{1,885}{1,560} + \frac{0.10}{100} \times \frac{607}{471} \right] \\
 &+ \left(\frac{51.55}{100} \times \frac{17,220}{21,500} + \frac{22.61}{100} \times \frac{23,100}{24,600} + \frac{8.62}{100} \times \frac{23,310}{24,200} + \frac{82.78}{100} \times \frac{23,310}{24,200} \right) \times \frac{82.78}{51.55 + 22.61 + 8.62 + 82.78} \\
 &+ \left(\frac{4.67}{100} \times \frac{116}{116} + \frac{0.10}{100} \times \frac{132}{131} + \frac{4.77}{100} \times \frac{0}{0} + \frac{4.77}{100} \times \frac{0}{0} \right) \times \frac{4.77}{4.67 + 0.10 + 4.77} \\
 &+ \frac{0}{100} \times \frac{0}{0} + \frac{12.45}{100} - \frac{82.78}{100} - \frac{4.77}{100} - \frac{0.00}{100}
 \end{aligned}$$

積算単価 = 1,591.00

週休:4週8休以上

施工パッケージ単価計算

施工パッケージ名称		積算単位	標準単価	積算単価	登録番号	コトNo.		
上層路盤(車道・路肩部)		m2	543.99	675.00	8007	施工パ-178-9		
条件区分								
材料	再生粒度調整碎石 RM-40							
平均幅員	-							
1層当り平均仕上り厚	-							
全仕上り厚	実数入力:10cm							
施工区分	1層施工							
瀝青材料種類	-							
機労材	代表規格				構成比	基準単価	宮崎	
K(機械)					*印:賃料	10.38		
K1	モータグレーダ[土工用・排出ガス対策型(第2次基準値)] ブレード幅3.1m					4.20	18,300	18,300
K2	ロードローラ[マカダム・排出ガス対策型(第2次基準値)] 運転質量10t 締固め幅2.1m					3.25	13,600	13,600
K3	タイヤローラ[普通型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 質量8~20t				*	1.06	4,480	5,102
R(労務)						30.75		
R1	運転手(特殊)					14.14	24,200	22,200
R2	特殊作業員					4.97	24,600	22,000
R3	普通作業員					4.74	21,500	16,400
R4	土木一般世話役					1.36	24,700	23,900
Z(材料)						58.87		
Z1	再生粒度調整碎石 RM-40 : 粒調碎石 M-30 宮崎③					56.09	240,000	350,000
Z2	軽油 1.2号 パトロール給油					2.28	116	118
Z3	-					-		
Z4	-					-		
S(市場単価)	-					-		

計算式

$$\begin{aligned}
 \text{積算単価} &= 543.99 \times \left\{ \left(\frac{4.20}{100} \times 18,300 + \frac{3.25}{100} \times 13,600 + \frac{1.06}{100} \times 4,480 \right) \times 10.38 \right. \\
 &+ \left(\frac{14.14}{100} \times 24,200 + \frac{4.97}{100} \times 24,600 + \frac{4.74}{100} \times 21,500 + \frac{1.36}{100} \times 24,700 \right) \times 30.75 \\
 &+ \left(\frac{56.09}{100} \times 240,000 + \frac{2.28}{100} \times 116 + \frac{0}{100} \times 0 + \frac{0}{100} \times 0 \right) \times 58.87 \\
 &\left. + \frac{0}{100} \times 0 + \frac{0}{100} \times 0 - \frac{10.38}{100} - \frac{30.75}{100} - \frac{58.87}{100} - \frac{0.00}{100} \right\} \\
 \text{積算単価} &= 675.00
 \end{aligned}$$

週休:4週8休以上

施工パッケージ単価計算

施工パッケージ名称		積算単位	標準単価	積算単価	登録番号	コードNo.
舗装版破碎		m2	167.88	162.30	8009	施工パ-215-1
条件区分						
舗装版種別	アスファルト舗装版					
障害等の有無	無し					
騒音振動対策	不要					
舗装版厚	15cm以下					
Co+As(カバー)舗装によるアスファルト舗装版厚	-					
積込作業の有無	有り					
機労材	代表規格			構成比	基準単価	宮崎
K(機械)				*印:賃料	9.68	
	K1	バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(第3次基準値)] 山積0.45m3(平積0.35m3)	*	9.68	5,427	6,337
	K2	-	-	-		
	K3	-	-	-		
R(労務)					82.20	
	R1	土木一般世話役		28.85	24,700	23,900
	R2	運転手(特殊)		28.25	24,200	22,200
	R3	普通作業員		25.10	21,500	16,400
R4	-		-			
Z(材料)					8.12	
	Z1	軽油 1.2号 パトロール給油		8.12	116	118
	Z2	-		-		
	Z3	-		-		
	Z4	-		-		
S(市場単価)						

計算式

$$\begin{aligned}
 \text{積算単価} &= 167.88 \times \left\{ \left(\frac{9.68}{100} \times \frac{6,590}{5,427} + \frac{0}{100} + \frac{0}{100} \right) \times \frac{9.68}{9.68} + \left(\frac{28.85}{100} \times \frac{25,095}{24,700} + \frac{28.25}{100} \times \frac{23,310}{24,200} + \frac{25.10}{100} \times \frac{17,220}{21,500} + \frac{0}{100} \right) \times \frac{82.20}{28.85 + 28.25 + 25.10 + 0} + \left(\frac{8.12}{100} \times \frac{116}{118} + \frac{0}{100} + \frac{0}{100} \right) \times \frac{8.12}{8.12 + 0 + 0} \right\} \\
 &+ \frac{0}{100} \times \frac{0}{0} + \frac{0}{100} \times \frac{0}{0} - \frac{9.68}{100} - \frac{82.20}{100} - \frac{8.12}{100} - \frac{0.00}{100} \\
 \text{積算単価} &= 162.30
 \end{aligned}$$

週休:4週8休以上

施工パッケージ単価計算

施工パッケージ名称	積算単位	標準単価	積算単価	登録番号	コードNo.	
プレキャスト擁壁設置	m	45,825.00	55,710.00	8011	施工パ-065-5	
条件区分						
プレキャスト擁壁高さ	1.0mを超え2.0m以下					
基礎碎石の有無	有り					
均しコンクリートの有無	有り					
機労材	代表規格			構成比	基準単価	宮崎
K(機械)	*印:賃料			2.12		
K1	バックホウ(クローラ型) [標準型・クレーン機能付・排ガス対策型(第3次基準値)] 山積0.8m ³ (平積0.6m ³) 吊能力2.9t			*	9,847	11,537
K2	-			-		
K3	-			-		
R(労務)				21.79		
R1	普通作業員			3.60	21,500	16,400
R2	土木一般世話役			2.07	24,700	23,900
R3	特殊作業員			2.06	24,600	22,000
R4	運転手(特殊)			2.03	24,200	22,200
Z(材料)				76.09		
Z1	コンクリート擁壁 (q=10kN/m ²) 2000型 (L=2.0m)			74.69	68,400	89,300
Z2	軽油 1.2号 パトロール給油			0.63	116	118
Z3	-			-		
Z4	-			-		
S(市場単価)	-			-		

計算式

$$\begin{aligned}
 \text{積算単価} &= 45,825.00 \times \left\{ \left(\frac{0.95}{100} \times 11,998 + \frac{0}{100} \times 0 + \frac{0}{100} \times 0 \right) \times \frac{2.12}{0.95} \right. \\
 &+ \left(\frac{3.60}{100} \times 17,220 + \frac{2.07}{100} \times 25,095 + \frac{2.06}{100} \times 23,100 + \frac{2.03}{100} \times 23,310 \right) \times \frac{21.79}{3.60 + 2.07 + 2.06 + 2.03} \\
 &+ \left(\frac{74.69}{100} \times 89,300 + \frac{0.63}{100} \times 118 + \frac{0}{100} \times 0 + \frac{0}{100} \times 0 \right) \times \frac{76.09}{74.69 + 0.63 + 0 + 0} \\
 &\left. + \frac{0}{100} \times 0 + \frac{0}{100} \times 0 - \frac{2.12}{100} - \frac{21.79}{100} - \frac{76.09}{100} - \frac{0.00}{100} \right\} \\
 \text{積算単価} &= 55,710.00
 \end{aligned}$$

週休:4週8休以上

